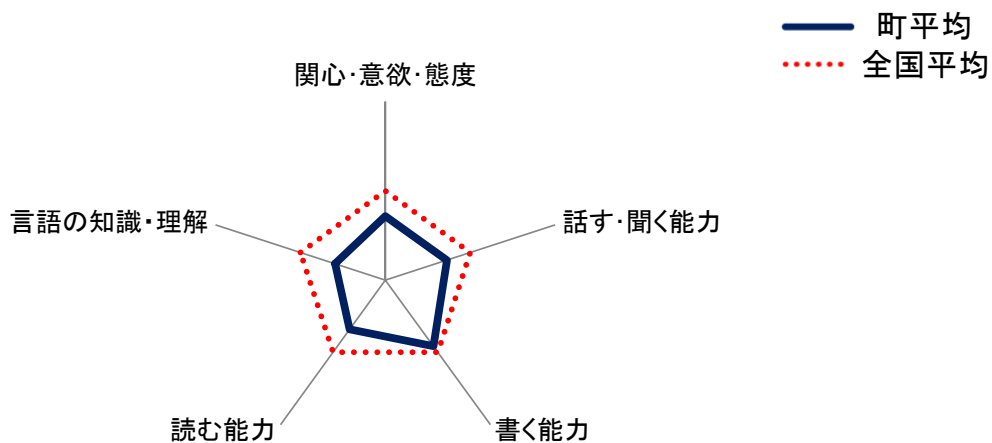


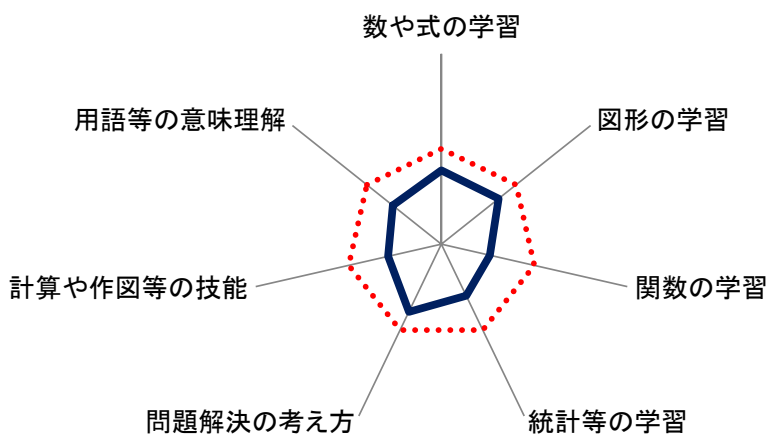
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

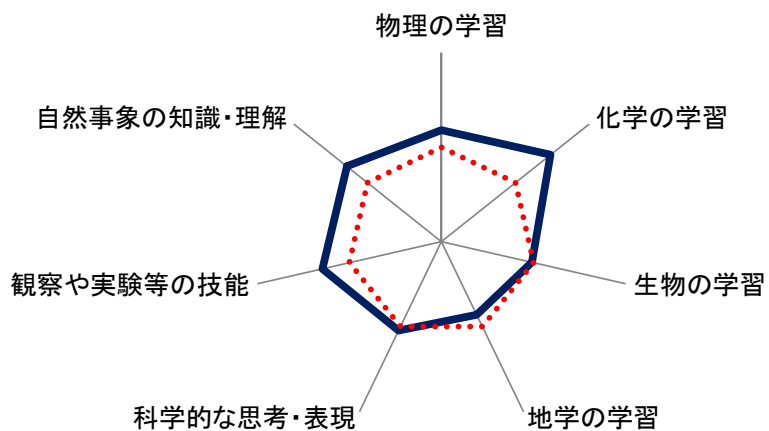
【国語】



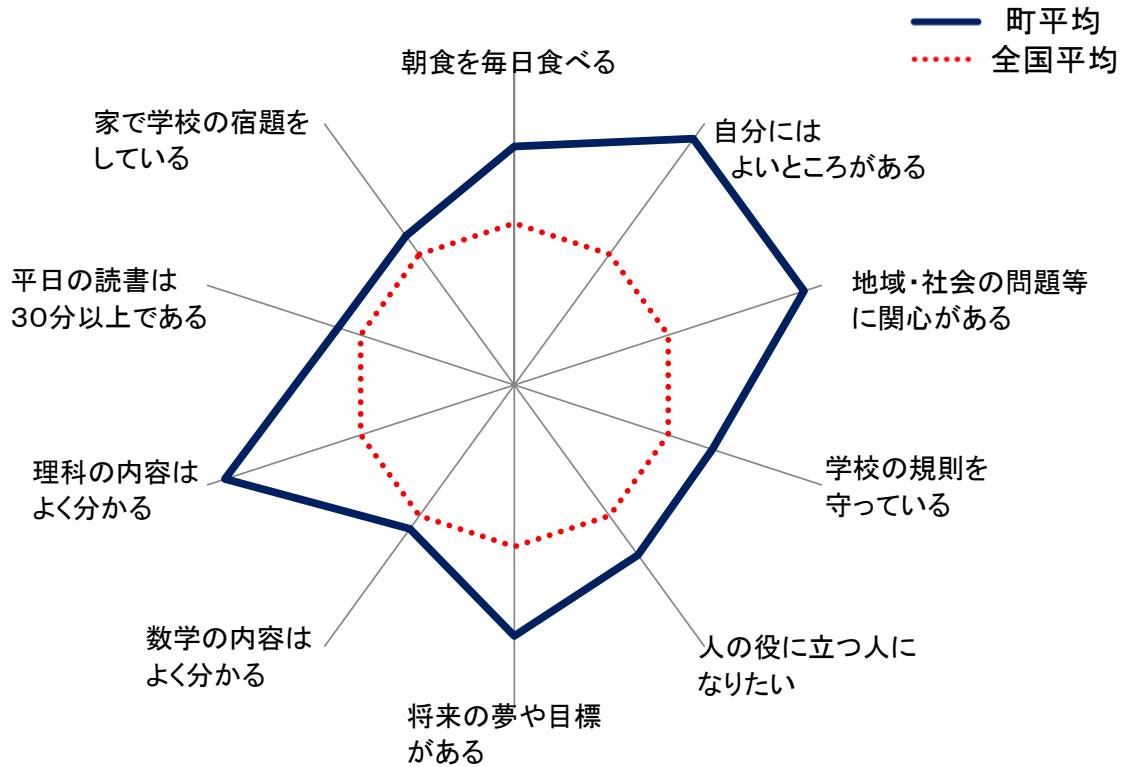
【数学】



【理科】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、理科は多くの項目で全国平均を上回り、特に「化学の学習」の項目は良好である。生徒質問紙調査における「理科の内容がよく分かる」の項目で肯定的な回答が多いことに起因するものと思われる。国語、数学は、全ての項目で全国平均とほぼ同じか下回っている。今後、国語や数学においても理科と同様に、生徒の学習意欲を高めながら、更なる学力の底上げをしていくとともに、全ての領域において知識と活用のバランスの取れた学力を育成できるような取組の推進が望まれる。

生徒質問紙調査では、取り上げている全ての項目で肯定的な回答が、全国平均とほぼ同じか上回っている。特に「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標がある」、「地域・社会の問題等に関心がある」の各項目はきわめて良好である。小学校の課題である平日の読書時間や自尊感情において、中学校では良好な結果が表れていることから、小学校との連携を通して情報交換を行うなど、小・中学校及び家庭や地域とが一体となって児童生徒を育てていく取組が望まれる。